

モリナガ・ヨウ/作 道江紳一/監修 ほるぷ出版

たたみやじょうじがある和室。そこにはおどろきの技術がたくさんかくれています。たたみはどうやって作るのでしょう。かべは何からできているのでしょうか。古くから伝わる日本の伝統文化や職人の技を見てみましょう。森から木を運び出す人。屋根がわらを作る人。和室作りに関わる職人の呼び名や道具の説明も興味深いですよ。和室が日本の気候にどうして合っているのかもわかります。



おはなし会に来てね！

中央図書館 電話：042-564-2454

☆クリスマスおはなし会☆ 12/20(土) 午後3時30分～

1/10(土)・1/24(土) 午後3時30分～

桜が丘図書館 電話：042-567-2231

☆クリスマスおはなし会☆ 12/17(水) 午後3時30分～

1/7(水)・1/21(水) 午後3時30分～

12/20(土)・1/17(土) 午前10時30分～

清原図書館 電話：042-564-2944 ※12月中は工事のためお休みしています。

☆クリスマスおはなし会☆ 12/24(水) 午後3時30分～

(場所は、新堀地区会館です)

1/14(水)・1/28(水) 午後3時30分～

年末年始の図書館のお休み

中央図書館 12/28(日)～1/4(日)

桜が丘・清原図書館は 12/28(日)～1/5(月)



この本 読んでみない？

2025年*冬



5・6年生

東大和市立図書館

ヤーガの走る家

[93ア]

ソフィー・アンダーソン/作 長友恵子/訳 小学館

バーバとマリンカが暮らす家には鳥の足が生えています。この不思議な家に住むバーバの仕事は死者をもてなして星へ帰す「門の番人」でした。12才のマリンカもいつかはこの仕事を受けつぐ運命でした。でもマリンカは決められた運命を受け入れたくはありませんでした。友達がほしい。いっしょに出かけたり遊んだりしたい。夢と運命にはさまれたマリンカはどんな決断をするのでしょうか。

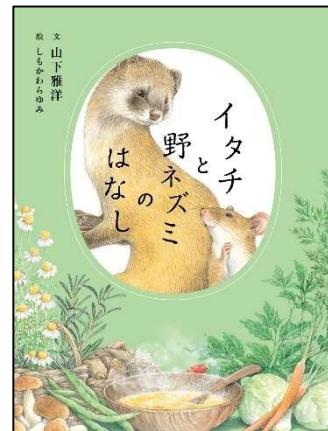


イタチと野ネズミのはなし

91ヤ

やましたまさひろ
山下雅洋/作 しもかわらゆみ/絵 アリス館

野ネズミが作る野菜たっぷりのスープはとてもいいにおいがします。野菜ぐらいのイタチさえ、そのスープをおいしいと思いました。出会ったばかりのころ、イタチは野ネズミを食べるつもりでした。でもそれではおいしいスープが食べられなくなります。イタチは野ネズミと暮らすことにしました。すっかりなんか良くなつたふたり。ところがある日、野ネズミが外へ出たきり帰って来なくて…。

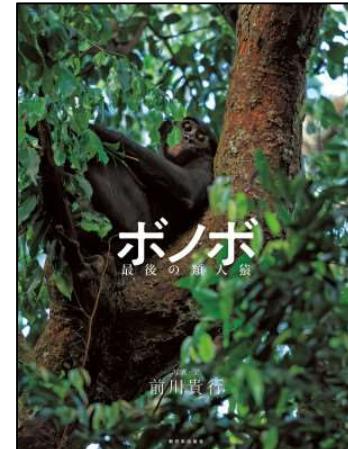


ボノボ -最後の類人猿-

45

前川貴行/写真・絵 新日本出版社

この本は、動物写真家の前川さんが、研究者とともに「ボノボ」に会いに行く旅のエッセイです。ボノボは、チンパンジーやゴリラといった類人猿の仲間で、もっとも人間に近いといわれています。アフリカ中部のコンゴ共和国にある熱帯雨林でくらしていて、いつか絶滅するかもしれないと考えられています。ジャングルの中で前川さんは、ボノボのどんな写真をとったのでしょうか。



ブックキャット -ネコのないしょの仕事!

93フ

ポリー・フェイバー/作 クララ・ヴリアミー/絵
長友恵子/訳 徳間書店

モーガンは、第二次世界大戦のころロンドンで生まれた黒ネコ。お母さんと妹と3匹でくらしていましたが、空襲で一人ぼっちになってしまいます。ひょんなことから、出版社に住む「ブックキャット」として働き始めたモーガンですが、ある日、出版社にも爆弾が落ちてきました。ロンドンの子ネコたちを守るため、モーガンはおどろくべき計画をスタートさせます。



ラクダで塩をはこぶ道 -サハラ砂漠750キロの旅-

Yス

エリザベス・ズーノン/作 千葉茂樹/訳 あすなろ書房

アフリカのマリ共和国にあるタウデニの街は、砂漠の真ん中にある岩塩の产地です。掘り出した岩塩は、板のように切りそろえて、十数頭のラクダにくくり付けて運ばれます。砂漠をこえて750kmはなれた街まで旅をして、そこで岩塩といろいろな品物と交換し、タウデニまで持ち帰るのでした。初めてラクダのキャラバンに加わる少年の旅の絵本です。

